

## 県内の取組事例からみた水路・農道等の保全管理方策

### 【1 成果の要約】

水路・農道等の保全管理にあたっては、非農家世帯を含む地域全体で実施する体制を構築し持続させていくことが重要です。

地域住民の保全管理作業への出役に対する動機づけに向けては、手当の支給等で出役を促しながら、各種交流の場を通じ地域住民との関係性の強化・構築を図る等、出役に対する意欲を誘起・持続させるようにすることがポイントになります。

### 【2 成果の概要】

- (1) 大規模水田作経営が地区内の多くの農地を集積し、土地持ち非農家化が進む県内7地区を調査した結果、非農家世帯を含む地域全体で水路・農道等の保全管理する体制が構築されていました。
- (2) 取組実態からみた地域住民の保全管理出役に対する動機づけのポイントは以下のとおりです(下表)。
  - ① 金銭的誘引として、多面的機能支払交付金等を利用し出役者に手当を支給する等。
  - ② 社会的・心理的誘引として、共同活動後の慰労会等の交流の場を通じて、関係性の構築・強化を図り、感謝の意を伝えるとともに、保全活動の意義、農業・農村への理解醸成等を進めること。
  - ③ なお、金銭的誘引による外発的動機づけは、慣れや過度に与えること等で意欲が減退しやすい傾向がある一方、社会的・心理的誘引により内発的動機づけがなされれば意欲が持続しやすいことが心理学的に知られています。よって、各地域における保全管理の現状・課題、地域住民の考え方・意識等を踏まえつつ、手当の支給等で出役を促しながら、各種交流の場を通じ地域住民との関係性の強化・構築を図る等、出役に対する意欲を誘起・持続させるようにすることが重要です。

区 分	具体的な取組(例)	特徴・留意点等
金銭的誘引 (外発的動機づけ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保全管理の出役者に<b>手当を支給</b>(多面的機能支払交付金等を活用)</li> <li>・ 出役できない人から、<b>出不足金</b>を徴収</li> <li>・ 共同活動後の<b>慰労会</b>、<b>親睦旅行</b>等の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>即効性</b>、<b>汎用性</b>あり(個人差が少ない)</li> <li>・ 持続性が小さく、<b>慣れてきたり</b>、<b>過度</b>に与えると<b>意欲が減退</b>(アンダーマイニング効果)することもある</li> </ul>
社会的・心理的誘引 (内発的動機づけ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 慰労会、自治会活動等交流の場を通じて、<b>関係性の構築・強化</b>を図る</li> <li>〔特に、後継者世代。感謝の意を伝えるとともに、保全活動の意義、農業・農村への理解醸成等を進める〕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>緩効性</b>、<b>個人差</b>(関心・受け取り方)が大</li> <li>・ 人が生得的に持っている欲求(<b>他者と関わりを持つ</b>、<b>役に立っている</b>、<b>自身で決定する</b>)を満たすことで意欲的に行動する</li> </ul>

#### 対 応 策

手当の支給等で出役を促しながら、各種交流の場を通じ地域住民との関係性の強化・構築を図る

### 【3 留意事項】

詳細は、別途作成する試験研究成果書や報告書を参照してください。

### 【4 活用場面】

土地改良区、地域資源管理組織、行政・普及センター等が、水路・農道等地域資源管理や多面的機能支払交付金制度に係る指導・支援等を行う際の参考となります。